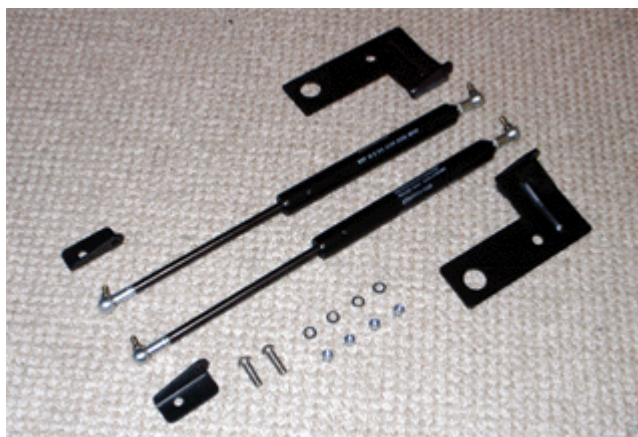


ATH アテンザ用ボンネットダンパー説明書



取り付けについての注意

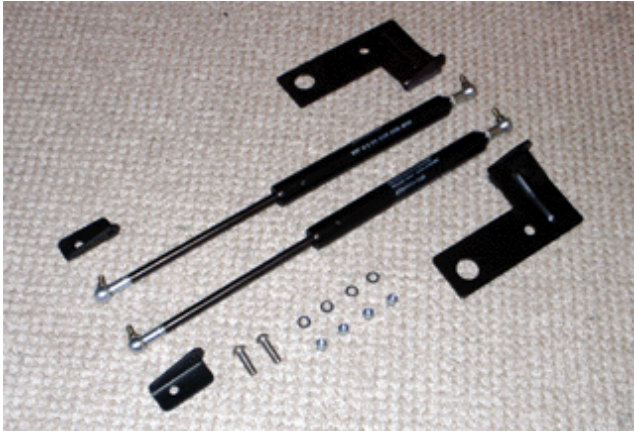
本品の取り付けは容易ですが、工具の使い方などバッテリーの交換ができる程度の知識、技術を必要とします。

Copyright 2004 てけ, All Rights Reserved

この文書の内容、写真等を許可なくコピーしたり Web サイトに掲載することを禁じます。

作業前の準備

準備1. 内容物の点検



最初に以下のすべての部品が揃っていることを確認して下さい。

ダンパー本体	2本
ボンネット側金具(大)	2個
車体側金具(小)	2個
車体側ボルト	2個
ダンパー固定用ナット	4個
ダンパー固定用ワッシャ	4個

もし不足している場合には作業を中止して出品者に連絡してください。

準備2. 工具の用意と点検



本品を取り付けるためには少なくとも次の工具が必要です。

ボックスレンチまたはメガネレンチ(両方あると便利です)

12mm

10mm

8mm

スパナ

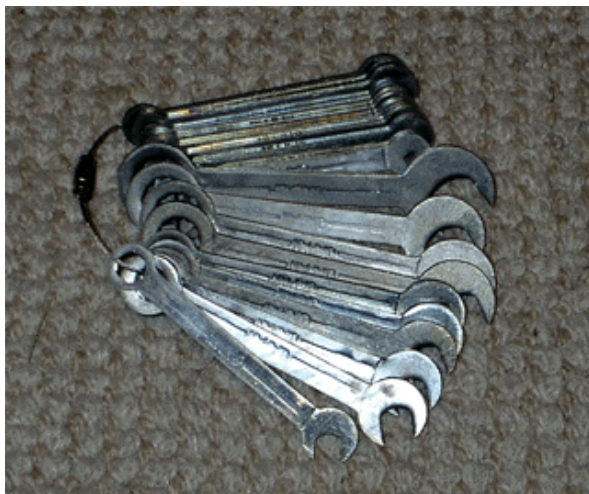
9mm

ヘキサ(六角)レンチ

4mm

これらの工具は次の用途で使用します、自動車はタイプや製造時期により使用しているボルトのサイズが違うことがありますから、あらかじめ実車、本品にあててみて合うことを確認してから作業に入ってください。このマニュアルは2004年製造の ATENZA 23Z への取り付け方法を示しています。

9mmのスパナはダンパー両端のボールジョイントが空回りするのを防ぐために使用します。この部分は隙間がせまいので、薄いスパナを使います。



作業と使用する工具

	12mm	10mm	8mm	スパナ	ヘキサレンチ
車体側金具	×		×	×	
ボンネット側金具		×	×	×	×
ダンパー取り付け	×	×			×

取り付け作業

車体側金具の取り付け



ボンネットを開きステーで確実に固定します。
左右のフェンダー中央当りにあるボルトを10mmのボックスレンチかメガネレンチで外します。取り外したボルトは使用しないので、将来元に戻すためのために保管しておきます。



次に車体側金具をキット付属の車体側ボルトで固定します。
金具には左右の別があるので注意して下さい。三角形の部分が内側になり、その穴が車体の前方になるようにします。ボルトはヘキサレンチでしっかり締め付けます(締めすぎないように注意)
左右の金具を取り付けます。

ボンネット側金具の取り付け



ボンネットは2本のボルトで固定されていますが、車体の前方側の「1本だけ」を12mmのメガネレンチまたはボックスレンチで取り外します。

<危険！>

ボルトを2本とも取り外すとボンネットが落ちてきて大変危険です。

<注意！>

もう1本のボルトは絶対にゆるめないで下さい、ボンネットの位置がずれてしまいます。



金具を写真のように取り付け、元のボルトで固定します。十分に締め付けますが、締めすぎないように注意します。

このL字型の金具も左右があります、ゴムのクッションがついている部分が上(ボンネット側)の外側になります。

左右の金具を取り付けます。

ダンパーの仮組み



外側から金具に取り付けてみます、ダンパーより金具間の寸法が若干狭いので、ほんの少しボンネットを押し上げると取り付けが楽になります。

仮組みで問題がなければダンパーを固定します。この作業は左右、片側ずつ行います。



<危険！>

ボンネットステーが外れるとボンネットが落ちてきて大変危険です、注意して下さい。

ダンパーの固定



ワッシャとナットで固定します。

ナットには向きがあるので注意します、丸くなっている方が車両内側で、平らになっている方がダンパー側になります。

ナットを回してもボールジョイントになっているボルト側も同じように回ってしまうので、ボールジョイントの根本部分をスパナで固定して8mmのメガネレンチまたはボックスレンチで締めます。

ダンパーの両端が固定されたら、ぐらつき、ゆるみがないか確かめます。

反対側のダンパーも同様に固定します。

最終点検

最後に全てのボルト、ナットの締め具合、金具の方向などをチェックします。



テスト

- ボンネットをしっかり支えながらボンネットステーを外します。
- ボンネットを支えている手をゆっくり離してボンネットが開いたままになることを確かめます。
- ボンネットを手でゆっくり10cmほど押し下げてください。
- 固くて動かない場合はダンパーが正しく取り付けられているか再確認します。
- 金具が逆向きになっていると車両本体、ダンパーの故障の原因となります。
- 正常に取り付けられている場合には、少しずつ力をかけてみます。ダンパーの初回使用時には動きが固めなので、これで動き始めるでしょう。
- 数回開け閉めして問題がないか確かめます。

<危険！>

ボンネットは半分ほど閉めたところで押し上げる力がなくなり、急にバタンと閉まります。手を挟まないように十分注意して下さい。

使用方法

- | | |
|------------|---|
| 開ける | ボンネットを半分(50cm)ほど持ち上げると後はダンパーの力で開きます。 |
| 閉める | ボンネットをゆっくり押し下げていくと半分(50cm)ほど閉めたところで押し上げる力がなくなります。ここからはしっかり手で支えながら閉めていきます。 |

<危険！>

ボンネットは半分ほど閉めたところで押し上げる力がなくなり、急にバタンと閉まります。手を挟まないように十分注意して下さい。